

## 公開質問状

福井県原子力安全専門委員会

委員 各位

去る4月14日に枝野幸男経済産業大臣が福井県知事とおおい町長に、大飯原発3、4号機の再稼働の同意を求めました。それ以来、貴委員会は、4月16日、25日、そして5月8日の3回にわたり、経産省原子力安全保安院や関西電力などから、それらの2機に関する安全対策などについての説明を受けてきました。そして、その3回目の会合の終了時に、委員長が、これまで質問した事項への対応は大体得られたとして、知事に提出する報告書のまとめに入る考えを示しました。しかし、これまでの会合を傍聴してきた私たちには、各委員がそれらの説明をどのように理解し、受けとめられたのかが分からない点があります。また、まだ他に検証されるべき重要な課題が残っているのではないかとの認識もあります。私たちは、福島を事故をふり返り、原発の再稼働は、住民の十分な納得を得た上でなされるべきものであると考えています。そのため、報告書をまとめる前に、私たちの関心と疑問に関して是非とも説明をいただきたく、各委員に公開質問をさせていただくこととしました。突然の質問ではありますが、大飯原発の再稼働は、福井県のそして近隣諸府県の人々にとって死活がかかった問題であり、委員の皆様にはその重積が課せられているとの認識により、何とぞ誠意をもってお答えいただけますよう、お願い申し上げます。

以下に、私たちにとって、安全面で特に気にかかる3つの質問事項を記します。これらについて5月21日までに文書によって回答をいただけますようお願いいたします。そして、私たちの疑問や、不安を解消していただけない、あるいはさらなる検証が必要であるということになりましたならば、是非とも検証の作業を続けていただけますようお願いいたします。

なお、この質問の提出は、添付の資料「大飯原発、今なぜ再稼働？～ふくいにあつまろう～集会決議」にもとづくものです。また、この公開質問状は、サヨナラ原発福井ネットワークのホームページに掲載しており、各委員の回答も同ホームページに掲載する予定であることも申しそえておきます。

### 質問事項

(1) 関西電力の計画では、大飯原発3、4号機については、防潮堤などの設置が1年後に、フィルター付ベント設備の設置や、事故時に指揮をとるための免震事務棟の設置が3年後に先送りされています。こうした安全上の不可欠な措置を怠ったまま、これらの2機をこの夏に再稼働するというをどのように評価されるのか、お答えいただけますでしょうか。

(2) 3月30日の安全専門委員会において、保安院が、大飯原発に隣接する3つの断層の連動による地震動の評価に基づく、施設の耐震安全性評価の必要性を述べました。しかし、その評価は示されていません。その後の安全専門委員会では、地震動の評価方法についての問題点の指摘があったものの、施設の耐震安全性についての明確な検討はなされていません。専門委員の皆さんは、この問題をどのようにお考えなのでしょうか。制御棒の挿入基準時間 2.2 秒が確保されるのかどうかの確認もなされないままに、再稼働が可能とお考えなのでしょうか。もし、そのように考えられるのであれば、その理由をお聞かせいただければと存じます。

(3) 近年、日本海東縁にユーラシアプレートと北米プレートという巨大プレートの境界があるという説が多く、研究者の間で支持されているとのこと。つまり、日本海で巨大津波が発生する可能性があるということ。さらに、このプレート境界は新潟から神戸につながる地震帯へと延びるとの説が有力になってきているとのこと。若狭湾もそこに含まれています。この新潟－神戸地震帯というのは、2004年の新潟県中越沖地震、2007年の能登半島沖地震、2007年の新潟県中越沖地震などにより、独立行政法人「海洋研究開発機構」や独立行政法人「防災科学技術研究所」がひずみ集中帯と呼んで研究を開始し始めている広範な地域の一角をなしています。ひずみ集中帯では、地殻に蓄積されるひずみが大きいために、活断層や活しゅう曲といった活構造が発達すると言われていています。

貴委員会におかれましては、この日本海東縁の巨大プレートの境界や、ひずみ集中帯について、若狭湾の原発の安全性との関わりにおいて調査・研究を行われたのでしょうか。行ったという場合、どのような結論に至ったのでしょうか。また、行っていないという場合、その理由について説明をいただけますでしょうか。

参考

<http://www.sc.niigata-u.ac.jp/geology/saigai/017.pdf>

<http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/maritec/donet/hizumi.html>

<http://www.hizumi.bosai.go.jp/pdf/pamphlet.pdf>

(4) その他、この間の保安院と電力会社の説明を聞いて、特に、問題であると思われた点、気にかかったという点について、自由にお書きいただければと存じます。

2012年5月14日

「ふくいにあつまろう」実行委員会

連絡先 〒915-0035 越前市入谷町13の20  
山崎方 TEL 090-6271-8771